

物事がうまくいく脳の使い方、それがNLPなんです。

福岡在住の吉村裕司さんは、経営コンサルタントとして、IT、医療・介護、住宅、流通、販売など、幅広い企業のサポートをしつつ、一般社会人対象のコミュニケーション・セミナーも200回以上開催し、社会貢献をしている。そんな吉村さんが、会社設立年の2007年に取得したのが、NLPマスタープラクティショナー資格だ。

NLPをひとことと言うと、「物事がうまくいく脳の使い方」。世の中には、仕事上はもちろん、プライベートでの家族との接し方まで、抜群に上手な人がいる。脳の使い方の違いを学べば、そうした能力を誰もが発揮できるようになるのだ。

■仕事に危機感を抱いた中で出会った資格

吉村さんがこの資格に出会ったのは、仕事で壁を感じた時だった。コンサルティング業務の中で、クライアント企業で働く人たちのモチベーションを上げるにはどうしたらいいのか？ 離職しないで自信を持って仕事に取り組んでもらうにはどうしたらいいのか？ という課題の答えが見つからず悩んでいた。今後は心理学なども深く学ばないと仕事を続けられないのではないかと、危機感を抱きながらネット検索をしていたところ、NLPが目に入った。これだ！と感じて受講を決めた。

資格をとって、自分の中で大きく変化があった。実は意外と人見知りで、初対面では緊張してうまく話せなかったのだが、受講後は初対面を気にすることなくコミュニケーションできるし、何百人もの前で講演までできるようになった。人と交流する機会が増え、人生が変わったとまで言う。



株式会社オール・マイ・プレジャー
代表取締役

吉村裕司さん

大手レンタルビデオショップの店員から、1年半後に新事業戦略室の室長代理に抜擢されるなど活躍後、地元福岡の経営コンサルティング会社に転職。現場主義のコンサルティングで、より多くの人に生き生きと充実した人生を歩んでほしいと願い、2007年に株式会社オール・マイ・プレジャーを設立。1972年生まれ。



いまでは、百人百様の経営者とのコミュニケーションに、また、組織づくりを支援をする企業研修や現場で働くスタッフとの面談、コミュニケーションなどにも大いに活用している。

■もったいないから、人にも教えた

「知らないって、もったいないと感じました。悩んだり、行き詰まったり、挫折しそうになったり、不満を溜めたりしていたことが、本当はもっと簡単にうまくいく方法があるとわかり、不安がまったくなくなっていました」

今では、地元・福岡の地で「プラクティショナー資格コース」を主催する。多くの人がそのノウハウを学べる場を創造するまでになり、本業以外でも人の役に立っていることを実感するという。

■より良い社会のために自分ができること

「社会に役立つということがおもしろいかもしれませんが、より良い社会になるには、親が変わる、教育者が変わる、経営者が変わることが欠かせないと考えています。なぜならば、この人たちは、人の人生のステージにおいて段階的に（親↓教育者↓経営者）影響を与えていく人たちだからです。自分に何ができるかと考えた時に、自然とこの人たちにNLPを伝えたいと思うようになりました。経営者に対してはコンサルタント業務の一環として、そして、社会人対象セミナーの中で、親、もしくは将来親になれる方、また参加される教育関係の方たちに向けて、少しずつでも発信できればと考え活動しています」

吉村さんから資格取得を考えている方へ。

「資格を取得して本当に役立つのか、自分に使いこなせるのか、また、取得のための時間や費用など、いろいろ迷うことが多いと思います。でも、これだけは言えます。自分への投資、学びへの投資は、時間が経てば経つほどさらに役に立つものに変わっていきます。NLPは間違いなく、その選択肢の一つとなると考えます。実践すると必ず結果が出てくるのがNLPの良いところです。体験セミナーもありますので、取得の前に覗いてみてください。そこで判断すればよいと思います」